

流れ藻観測速報

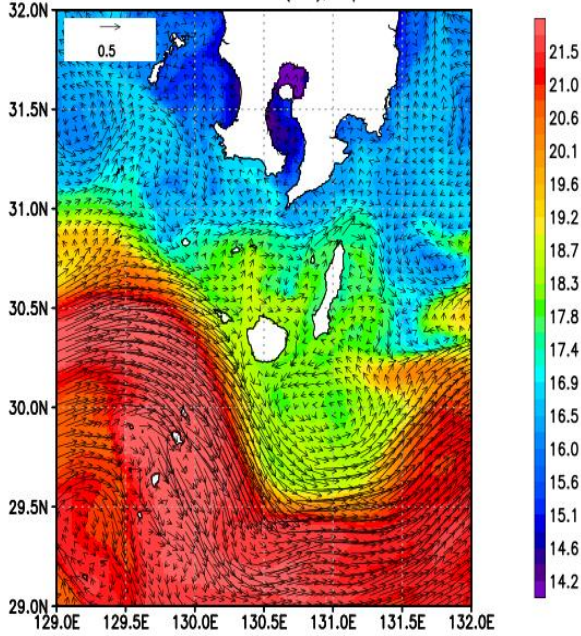
鹿児島大学水産学部水圏科学分野
20230224

観測期間:2023年2月22日~24日

観測船:南星丸

観測海域:北部薩南海域

Bckgr: Potential Temperature at Model Level [C]+Sea Current at Model Level [m/s];
20230222 09:00 JST (ANL); Dep=1 m



解説

鹿児島大学水産学部では、薩南海域へ来遊する流れ藻の漂流予測を目指した研究を行っている。モジャコ漁の漁期前・漁期中において、薩南海域に来遊する流れ藻の情報を漁業者に提供するため、鹿児島大学練習船を使って、北部薩南海域(鹿児島湾口部)の流れ藻観測を2月22日~2月24日に実施した。

観測期間中、黒潮はトカラ海峡を北西から南東に向かって流れていたが、北部薩南海域には黒潮から派生したと考える暖水域が大隅海峡南部に見られた。DR_Eでは明確な黒潮フロントが見られると共に、鹿児島湾口部付近にも暖水と冷水のフロントが見られた。北部薩南海域を縦断するように流れ藻観測を行ったところ、黒点部分において流れ藻が発見された。また23日の観測では流れ藻発見地点の付近に潮目が確認された。

図1. 鹿児島大学工学部によって運用されている高分解能海洋モデル(DR_E)における流れ(矢印)および海表面水温(赤~紫)の2月22日の結果(ホームページより引用)。

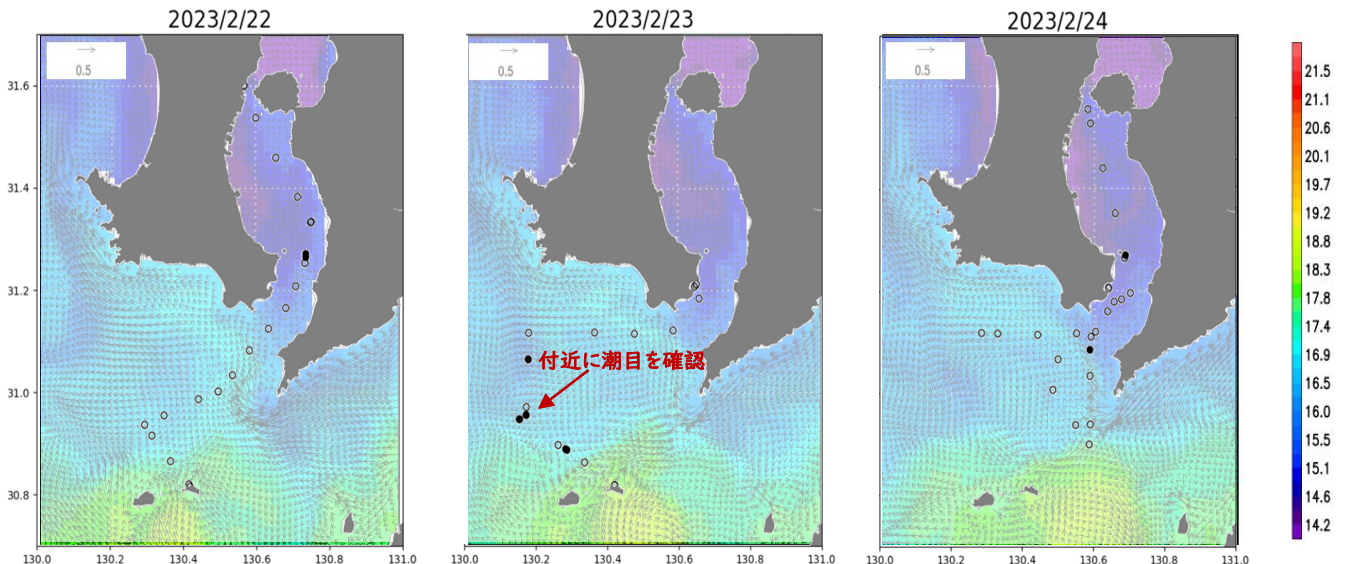


図2. 鹿児島大学練習船南星丸による流れ藻観測結果. 黒点部分にて、流れ藻が発見された。

- 航路
- 流れ藻が発見された地点